

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2017年11月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2017年11月7日～30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 109社
- 回収率 54.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の10月の状況を見ると業況DIは、前月より2.2ポイント悪化の▲6.9となった。

2017年9月以来2ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

業種別では、製造業、卸売業の2業種において悪化した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲17.4と当月に比べ10.5ポイント悪化を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、製造業、小売業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 2017年12月～ 2018年2月
業況	▲3.7	▲4.9	1.9	▲4.7	▲6.9	▲14.7	▲22.0
売上	5.6	9.7	4.7	8.5	▲0.9	▲0.9	▲16.5
採算	▲8.3	0.9	▲1.9	▲2.9	▲10.4	▲13.8	▲20.2
仕入単価	▲31.5	▲27.2	▲24.7	▲34.0	▲31.3	▲39.5	▲35.8
従業員	25.9	32.1	29.5	35.9	34.8	32.1	32.1
資金繰り	▲3.7	1.9	7.6	▲4.8	▲3.5	▲11.0	▲11.9

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 2017年10月～ 2018年1月
建設	11.6	19.3	4.0	23.1	7.2	0.0	▲24.2
製造	▲4.2	4.4	11.5	9.1	▲4.2	▲4.4	▲8.7
卸売	0.0	▲22.7	▲5.0	▲13.6	▲8.3	▲13.6	13.6
小売	▲29.4	▲21.4	▲6.7	▲17.7	▲5.6	▲46.6	▲46.6
サービス	▲5.6	▲16.7	0.0	▲36.8	▲28.5	▲25.0	▲25.0

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度は住宅は伸びず、賃貸マンションが多く売上が伸びた。今年度は春先より住宅が順調に推移し賃貸マンションは前年より少し下向きだが TOTAL で前年比 130%となっている(建築) ・受注工事は順調であり、総じて好転しております(建築) ・冬期間、特に 12 月後半から 2 月いっぱい作業中断にて仕事量が減少し売上減少。この期間本州への仕事を考えるが短期間のため受け入れ先がない。毎年の事ながら頭の痛い時期(建築) ・下請含む人と資材の確保難が増幅してきている。また、天候不順も相俟っての採算悪化が懸案材料(総合工事) ・自社技術職員不足(設備その他) ・現場代理人や技術作業員の慢性的な不足(設備その他) ・公共工事の発注が冬に向け出る工事は北国の者にとって辛いものである。発注機関はいつまで経っても是正されません。「国がそうだから仕方がない」とせずに、地方からもっと声を上げる必要がある。公共工事の縮減と民間仕事量の減少で大変辛いものがある(設備その他)
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の主要資材アルミ材仕入れ単価材上昇中。今後の単価水準を見通せない(金属窯業他) ・急な総選挙後、公共投資の減少による影響が心配される(金属窯業他) ・原油の影響なのか 11 月 21 日出荷分から、ステンレス関連 10～25%値上げとの情報。追従して他の仕入値上げにならなければいいが・・・仕入単価上昇すれば当然の事ながら収益は圧縮され厳しい状況になる(家具木材) ・運賃の値上げや、段ボール箱・紙の値上げが来ている(家具木材)
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同等の業況ではあるが、需要の停滞感はある(機械鋼材) ・個人所得の向上(その他) ・特段の変化はない(食料品) ・来年度からの賃上げを検討中(機械鋼材)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・円安・原油価格値上りによる仕入価格上昇で燃料油の収益性低下。人手不足により作業収益が減少(その他) ・11 月も天候の影響(気温が高かったり低かったり)があり、冬物商品(特にアウター・ウール・ダウンコート)が今ひとつ動きが悪く売が大変苦戦している。ウインターセールも早くなり今月が重要になってくる。フリー客の来店及び売上は見込めないが顧客に売り込むほかない(衣料品) ・従業員不足が続いている(その他) ・設備の老朽化(自動車) ・仕入価格の上昇に対して価格転嫁が遅れている(その他) ・新規設備投資負担(食料)
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・上川管内の施設との大型物件契約で売上 10%増を見込む(理美容クリーニング) ・車輛販売の減少。整備在庫台数の減少。事故車在庫台数の減少(整備) ・清掃員の不足と高齢化により清掃不備(清掃の質)が問題。この問題が口コミでイメージ低下となりホテルのイメージダウンとなる。市内インバウンド減少によりマーケット価格が下落。客層もビジネス 1 名利用が多く客室単価向上が難しい状況である(ホテル旅館) ・運転者不足(運送) ・今月は忘年会シーズン前なので売上はあまり良くない。観光客もこの時期少ないと思われる(飲食) ・人手不足深刻。最低賃金 810 円も深刻。廃業も視野(飲食) ・ドライバー不足(運送) ・生産性の向上と新たな仕事の受注を目的に、設備投資を実施してきた事が実り売上に繋がっている(その他)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI13.6 ポイント回復、採算 DI7.4 ポイント回復、仕入単価 DI12.7 ポイント悪化、資金 DI7.1 ポイント悪化、従業員 DI8.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 7.2 ポイント悪化となった。業種別では、設備その他 8 ポイント回復、総合工事 25 ポイント、建築 3 ポイント悪化となった。下請含む人と資材の確保難が増幅してきている。また天候不順も相俟っての採算悪化が懸案材料との声も寄せら</p>
製造業	<p>売上 DI0.3 ポイント回復、採算 DI4.2 ポイント回復、仕入単価 DI18.5 ポイント悪化、資金 DI4.4 ポイント悪化、従業員 DI0.6 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 0.2 ポイント悪化となった。業種別では、印刷出版 42 ポイント、家具木材 20 ポイント回復、食料品 17 ポイント、金属窯業他 22 ポイント悪化となった。総選挙後、公共投資の減少による影響が心配されるとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI4.2 ポイント悪化、採算 DI3.4 ポイント回復、仕入単価 DI2.6 ポイント回復、資金 DI5.3 ポイント悪化、従業員 DI2.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 5.3 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 9 ポイント回復、繊維・衣服等横ばい、機械鋼材 17 ポイント、その他 17 ポイント悪化となった。前年度と同等の業況ではあるが需要の停滞感はあるとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI21.0 ポイント悪化、採算 DI41.1 ポイント悪化、仕入単価 DI11.1 ポイント悪化、資金 DI3.4 ポイント悪化、従業員 DI7.8 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 41.0 ポイント悪化となった。業種別では、衣料品横ばい、食料品 33 ポイント、その他 26 ポイント、自動車 75 ポイント悪化となった。仕入価格の上昇に対して価格転嫁が遅れているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI0.7 ポイント悪化、採算 DI5.7 ポイント悪化、仕入単価 DI2.1 ポイント回復、資金 DI20.3 ポイント悪化、従業員 DI7.9 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 3.5 ポイント回復となった。業種別では飲食 8 ポイント悪化、ホテル、その他、運送横ばい、理美容クリーニング 50 ポイント、整備業 15 ポイント回復となったが実体は「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほ横ばい。生産性の向上と新たな仕事の受注を目的に設備投資を実施してきた事が実り売上に繋がっているとの声も寄せ</p>